

関常幸 議会報告

第 63 号
2023. 5

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



G7・ウクライナ結束 核・戦争のない世界を！

★ 広島市で開催された主要7カ国会議（G7サミット）は、21日3日間の日程を終え閉幕した。最終日はウクライナのゼレンスキー大統領が対面で、G7（米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、日本）と招待国の韓国、オーストラリアの他、インドやインドネシアなどの振興・途上国「グローバル・サウス」の首脳らに直接支援を訴えた。

★終わらないロシアのウクライナ侵攻、核使用の恐れがある中で、首脳の皆さんが被爆地ヒロシマに触れた意味は大きく・重い。

核軍縮に特化したサミットは初めてだが、日本は米国の核抑止力に守られている実状と「核兵器のない世界」という理想に向かうことは矛盾するものでないと思った。

★今日のウクライナは「明日の東アジアかもしれない」と訴える岸田首相にとって、各国首脳の視線を台湾有事へ向かせた。

「分断と対立ではなく協調に向けた結束を」と、岸田首相は呼びかけた。言うは易いが、行うは難しである。

★議長国の岸田首相は、広島平和記念公園で「G7とウクライナのゆるぎない結束と連帯を世界に示す」とともに、ロシア、中国を念頭に「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守りぬく決意を世界に発信」することができたと総括した。

★折しも5月20日、第70回自由民主党新潟県連大会が新潟市で開催。党本部の萩生田政調会長は、G7サミットの成功と運営は自民党政権であればこそ成しえることができたと・・・。

岸田首相が目指す日本の姿は、新型コロナウイルス（マスクが無い）とウクライナ戦争（半導体や小麦粉が無い）から学び、自由主義から少し社会主義を取り込み、必要なものは日本で作る。自前で作れる国にする。中小企業から日本に帰ってきてもらうようにする。そして、輸出リスクをゼロにするので、新潟は食料基地「米と日本酒」を海外に。

★衆議院は常在戦場！いつ解散があっても、新5区支部長の高鳥代議士に結集しよう。強い日本国と市民の幸せのために。

第1回市議会臨時会 (5月15日)



林 市長

3年間猛威をふるった新型コロナウイルスが今日15日から、通常のインフルエンザとなる。やっと「コロナ」という呪縛から解放され通常の生活に戻る。

提出案件は、報告が4年度補正予算1件、条例改正の専決処分3件の5件。一般議案が、5年度補正予算1件、財産の取得4件、工事契約2件で7件。合計12件。

臨時議会の主たるは、物価高騰により国から全自治体に臨時交付金が拠出される。南魚沼市には3億3千万円がくる。市（財政調整基金）から82百万円持ち出し合計4億1千万の予算で、「電気・ガス・食料品等」の高騰に影響を受けている市民、事業者に市独自支援策が提案（補正予算）される。そして、契約案件6件（消防、除雪、学校）。



塩谷 議長

●主たる内容（5年度補正予算）

- ・住民税非課税世帯に3万円を支給（6,500世帯 総額2億円）
- ・高校、大学等に在学している子供の保護者に子供1人3万円支給
（2,659人 総額8千万円）
- ・福祉施設、保育園に補助金支給
（障がい者施設20か所、高齢者施設92か所 総額1億円）
- ・園芸、畜産、水産事業者に補助金支給（総額3千万円）
（園芸505ha773経営体10a4千円、畜産9戸、水産10戸）
- ・小型動力ポンプ7台、消防資機材搬送車（2件計65百万円）
- ・ロータリ除雪車2台（1億円）
- ・旧五日町小学校解体工事（1億8千万円）
- ・北辰小学校長寿命化建築工事（3億1千万円）

●専決処分した5年度補正予算（全額国費 5月末までに支給）

- ・低所得子育て世帯に5万円支給（1,161人 総額5千9百万円）
- ・新型コロナワクチン接種事業（総額2億円）

●その他専決処分3件

- ・市税条例、市国民健康保険条例、市介護保険条例の一部改正

12案件のうち4件に反対討論があり、20対1の賛成多数で可決する。



★小・中校 学区再編について

10月の答申に向けて「学区再編検討委員会」は、第6回を5月12日に、第7回が5月29日に開催される。

大和地区からは検討委員会に小澤議員が出席しており、今回の再編は大和地区が中心で、小澤議員の呼びかけで大和地区議員5名が、5月22日協議、検討する。

いろいろな意見が続出し、紛糾の場面もあったが大筋で次のようにまとまる。

5～7年後に市内5小学校（後山小は除く）は「大和小学校」（仮称）とし大和地区に2校とする。

大和中学校も老朽化がはげしく、雨漏りや水回りの配管腐食等が進んでおり、近年中に長寿化の大規模改修が実施される。しかし、教育環境や新築コスト等を考えた時、小学校の新築と併せて大和中学校も新築する方が良いのではと整理する。小中連携校がいいのか、小中一貫校がいいのかは今後の協議。

（大和地区議員5名の大枠の考えです。）

大和地区児童数（人）

R5年 R17年

・三用	68(築39年)	32
・赤石	65(37)	51
・浦佐	268(56)	241
・大崎	149(51)	76
・後山	15(28)	8
・藪神	122(57)	77
計	687人	485人

主な活動日誌 (2月～5月)



2.5 第55回自由民主党
大和支部定期大会



2.5 花角知事南魚沼後援会
新年会



3.4 裸押合大祭「福もち」撒与



3.25 第27回 国際交流セミナー



4.1 高鳥代議士事務所訪問(高田)



4.4 浦佐認定こども園入学式



4.9 阿部久夫氏「旭日双光章」
受賞記念祝賀会



4.14 南魚沼市行政区長会
12 地域づくり協議会長挨拶



5.7 高鳥代議士街頭演説
(浦佐毘沙門堂駐車)

●政務活動(2月8日～10日)

<京都市立陵風学園>

明治初め、東京遷都による都市衰退の危機に瀕し、人口が3分の2まで減少する。「こどもをしっかりと育めば未来は明るい」「まちづくりは人づくりから」との信念の下、京都の町衆が自治組織ごとに、お金を出し合い学校づくりをおこなった歴史がある。平成16年に「小中一貫教育特区」に認定。

全教職員が小中9年間の学びと育ちに責任を持つ。

京都市の小中一貫教育の基本は連携型

- ・一体型7校
- ・併用型2校
- ・連携型55校

<葉っぱビジネスの徳島県上勝町> ごみ分別日本一

空き校舎利用を勉強



●一般社団法人「浦佐まちづくり機構」発足(2月23日)



「びしゃもん市」は5月から11月まで休みなしで営業、毎月第4日曜日は「小さなまつり」、昨年から「フットパス」開設。地域づくり協議会は「毘沙門通りに賑わいを」を合言葉に、ワークショップを開催しまちづくり会社へと進む。

お国じまん会館JA移転跡の改修は市の支援を受け、1500万円の基金目標を立て新法人がスタートする。

理事長に関博行(伊勢新)さん



4月23日に「びしゃもん市・西山カフェ」オープン

●県議会選挙

★2月19日(日)「選挙事務所開き・必勝祈願」

来賓の小林参議院議員、高鳥代議士山下秘書、林市長、田村町長、塩谷議長、種村元県議会議長他多くの同志が集まる。60数名の参加で会場は立錐の余地がない。

★3月31日(金)「告示日」

定員2人に現在現職2人が立候補を表明しており、他に立候補の動きはなく無投票という中での出陣式であったが、選対本部長塩川議員、游説隊長の目黒議員は「激」を飛ばした。

17時3期目の当選。万歳！万歳！と大きな拍手。



★G7広島サミットのもう一つの成果は、食糧安保とエネルギーの安定供給をG7で連携したことも大きい。
★コシヒカリの田植え最盛期。日本一におごることなく、より美味しいコメ作りを！

編集後記

●毘沙門堂山門天井画・板谷桂舟



3年の修復を終え、4/22～5/28まで池田記念美術館で展示、多くの市民から鑑賞していただく。4年ぶりに「山門」に帰ってきます。今度は山門で会いましょう！